



# 若竹

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 「全力」を尽くして…

学校長 中澤 道則

風、薫る5月から秋風しゅうふうわたる10月へ。今年度から秋開催となった「運動会」は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、半日開催の「さちフェス2020」に模様替えして実施されました。

練習が始まったのは約1か月前。9月の末のことでした。その頃はまだ25℃を超える日も珍しくありませんでしたが、今はもうすっかり秋の装いです。これまで行事らしい行事をやることができなかった今年度、初めての全校での行事です。長らく様々な制約の中で学校生活を送ってきた子ども達は最初のうち、若干戸惑い気味でした。しかし、ブロック内での演技の教え合いや全校ダンスの練習等を重ねるにつれて、子ども達の気持ちもだんだんと盛り上がってきました。

まずは練習風景から。1・2年生は「エイサー」。練習を重ねるごとに目に見えて上達し、全身で音楽を感じながらリズムカルに踊ることができるようになってきました。3・4年生の「ソーラン節」では4年生がリーダーシップをとり、3年生がそれに応える姿に成長を感じました。そして5・6年生の「飛翔」。その真剣な表情に、この「さちフェス」にける子ども達の「思い」が感じられました。どの学年も「教え合い」の中で着実に成長する姿を見せてくれたこの1か月でした。そしてまた、「学校」という「場」が、「学習」するだけでなく、人との関わりの中で人間的に成長する「場」であることを改めて感じさせてくれた1か月でもありました。

そして、10月24日、「さちフェス2020」。その「成長」を披露する「晴れの日」の開会式で私が話したのは「全力を尽くす」ということです。人が全力を尽くして何かに取り組んでいる姿は人の心を打ちます。子ども達は「さちフェス」の日、見事に「全力」で走り、踊り、応援する姿を見せてくれました。最後を飾った5・6年生の“飛翔”も自信に満ち溢れていました。今回の「さちフェス2020」開催にあたり、新たな取組にご理解、ご協力いただいたご家庭、地域の皆様方に深く感謝申し上げます。



いよいよ秋も深まり、今週からは「秋の読書週間」も始まりました。「スポーツの秋」、「食欲の秋」。何をやるにも最適な「実りの秋」です。学校でも、感染症対策を進めつつ、より「豊か」な学習ができるよう、勤めてまいります。保護者、地域の皆様におかれましても引き続きご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。